

様式第 2 号

平成29年度 安曇野市地域包括支援センター運営協議会(第1回) 会議概要

1	審議会名	平成29年度 第1回地域包括支援センター運営協議会
2	日 時	平成29年5月31日(水) 13時30分から15時00分
3	会 場	安曇野市役所本庁舎 3階共用会議室306
4	出 席 者	大輪委員、山本委員、杉本委員、宮澤委員、高橋委員、山口委員、松井委員、 小澤委員、黒澤委員、増田委員、山田委員、奥村委員 欠席：塩原委員、海老原委員
5	市側出席者	堀内保健医療部長、古畑介護保険課長、藤原介護保険課長補佐、 奈良澤介護保険担当係長、平田認定調査係長、新保介護予防担当係長、中村主事 中央地域包括支援センター：乗松保健師、藤澤(芳)主任介護支援専門員、 宮入社会福祉士、藤澤(宏)認知症地域支援推進員、 横川介護支援専門員、高田社会福祉士 南部地域包括支援センター：丸山主任介護支援専門員、蛇平社会福祉士 北部地域包括支援センター：渡邊主任介護支援専門員、伊藤保健師、 佐藤社会福祉士、土崎介護支援専門員
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年6月8日
協 議 事 項 等		
I	会議の概要	
1	開会	
2	委嘱書交付	
3	部長あいさつ	
4	自己紹介	
5	会長・副会長選出	
6	会長・副会長あいさつ	
7	協議	
	(1)	平成28年度地域包括支援センター事業報告について
	(2)	平成29年度地域包括支援センターの運営及び事業(案)について
	(3)	平成29年度第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託先事業所の選定(追加) (案)について
	(4)	北部地域包括支援センターの業務委託の方針(案)について
8	その他	
9	閉会	
II	協議内容	
7	協議	
	(1)	平成28年度地域包括支援センター事業報告について 《質疑なく了承》
	(2)	平成29年度地域包括支援センターの運営及び事業(案)について 委員：成年後見利用支援事業における民事法務協会成年後見相談窓口について、2,3人で担当すべきではないか。 事務局：成年後見のご相談をいただいた場合、対応のひとつとして民事法務協会にお願いしている。また、相談内容により、成年後見支援センターかけはしとの連携や司法書士につなげるなど、対応を行っている。 委員：予算において、社会福祉協議会に委託している南部及び北部と中央とに差があるが、職員数の違いか。

事務局：職員数は高齢者人口に応じている。中央では基幹型としての業務もあり、職員数が多くなっている。

委員：事業計画の新総合事業について、具体的にどのように多職種と連携をとっているのか。

事務局：今年度は1年間かけ、要支援1，2の方のうち、デイとヘルパーのみ利用されている方が要支援の認定期間満了後、総合事業に移行する。共助として、地域で開く体操教室をもっと積極的にやっという目標はあるが、開始年度ということもあり、支援1，2の方が総合事業に円滑に移行できるよう行っている。

委員：総合事業では、要支援になる前の人のほうが必要ではないか。

事務局：要支援になる前の方も総合事業に位置づけられている。名称は、一般介護予防事業に変わったが、様々な介護予防教室や地域に多数の自主的な活動ができているということ把握している。さらに増えていくよう、自主的な活動を行っているところがさまざまな介護予防あるいは認知症予防の知識を持っていただけるよう、お手伝いを行いたい。

《了承》

(3) 平成29年度第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託先事業所の選定（追加案）について

《質疑なく了承》

(4) 北部地域包括支援センターの業務委託の方針（案）について

《質疑なく了承》

(5) 委員の皆様からのご意見

委員：数年前に他界した母が介護保険を使っていたということで、個別の思いを届けられるようにと思い、参加した。

委員：国が要支援の関係を市町村に任せただけは残念。要支援は病気の始まりにあたる非常に大事な段階。特養も介護度の高い方しか入れないので、地域包括支援センターに期待するところは高い。

委員：介護現場の経験から、現在園芸療法等に取り組んでいる。どこかで役立てたいと思い、参加した。

委員：成年後見支援センターかけはしを、市独自で運営したほうが良いと思うがいかがか。

事務局：平成23年度からの事業で、現在は2市5村でかけはしへ補助金を出しお願いしている。かけはしでは、多くの専門職により、後見人の相談や困難な相談を専門的な立場で対応していただいている。毎年100件前後の相談を受けていただき、後見を15件ほど、累計で26件ほどになる。かけはしにお願いすることで成年後見人制度を必要としている方の支援ができていくと思う。

委員：昨年の権利擁護の件数について、高齢者虐待が平成27年度は200件であったのが平成28年度は286件と3割以上増えている。これは今まで拾えなかったものを拾えたからなのか、もしくはカウントの仕方が変わったからなのか。

事務局：カウントの仕方は変わっていない。件数が増えたということ。対応にかかる件数が増えたということもあるが、虐待と思って通報いただいても、調査の結果、虐待でなかったというケースも割とあった。また警察からこういった通報があり警察が動いた。虐待ではないが、包括でも様子を見てほしいということで訪問したということもカウントされている。

委員：みなさんご苦労様でした。1回目ということでお静かな方ばかりでしたが、2回目ともなると皆様慣れてこられると思うので、もっと活発にご意見を頂ければと思う。今日はありがとうございました。